

AD-5326T AD-5326TT

温度データロガー 取扱説明書 保証書付

ご注意

- (1) この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断複製は禁止されています。
- (2) この取扱説明書の記載事項および製品の使用は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

1. はじめに	3
2. 構成	3
3. 安全にお使いいただくために	4
4. 各部の名称.....	6
4-1. 正面／右側面	6
4-2. 裏面／左側面	6
4-3. 表示部.....	6
4-4. USB ケーブル.....	7
4-5. 外部温度センサ(AD-5326TT のみ標準付属)	8
5. 電源について	8
5-1. 電池の交換方法.....	8
5-2. ローバッテリーマーク表示	9
6. 操作方法	10
6-1. 電源を入れる	10
6-2. 外部温度センサの接続	10
6-3. 年月日、時刻の設定.....	10
6-4. 記録間隔（インターバル）の設定.....	11
6-5. ID 番号の設定.....	12
6-6. アラームの設定.....	13
6-7. 最高値／最低値メモリ	16
6-8. データ記録.....	17
6-9. 記録データのコンピュータへの転送.....	19
6-10. 記録データの解析.....	26
7. 本製品のお手入れ.....	27
8. エラー表示.....	27
9. こんなときには.....	28
10. 仕様.....	29

1. はじめに

このたびは、温度データロガーAD-5326T/AD-5326T Tをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読みいただいた後も大切に保管してください。

⚠注意

- ・ 株式会社エー・アンド・デイは、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。
- ・ Microsoft Windows、Internet Explorer および Excel は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または、商標です。

2. 構成

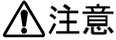
モデル No.	構成
AD-5326T	温度データロガー本体 1台 AX-KO5367 USB ケーブル (Aタイプ - マイロ Bタイプ) 1本 AXP-AD5326-02 ストラップ 1本 モニター用電池 CR2032 2個
AD-5326TT	温度データロガー本体 1台 AX-KO5366 外部温度センサ 1本 AX-KO5367 USB ケーブル (Aタイプ - マイロ Bタイプ) 1本 AXP-AD5326-02 ストラップ 1本 モニター用電池 CR2032 2個
AX-KO5366	別売オプション 外部温度センサ 1本 AD-5326TT に標準付属の外部温度センサと同じで、AD-5326T でも使用可能です。
AX-KO5367	別売オプション USB ケーブル (Aタイプ - マイロ Bタイプ) 1本 AD-5326T / AD-5326TT に標準付属の USB ケーブルです。
AXP-AD5326-02	別売オプション ストラップ 1本 AD-5326T / AD-5326TT に標準付属のストラップです。

3. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次のようなマークを表示しています。マークの意味は次の通りです。

 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を表示します。
--	--

この機器を操作するときは、下記の点に注意してください。

注意

・ 修理

ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷および機能を消失する恐れがあります。

・ 機器の異常

機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」中であることを示す貼紙を機器に付けるか、あるいは誤まって使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

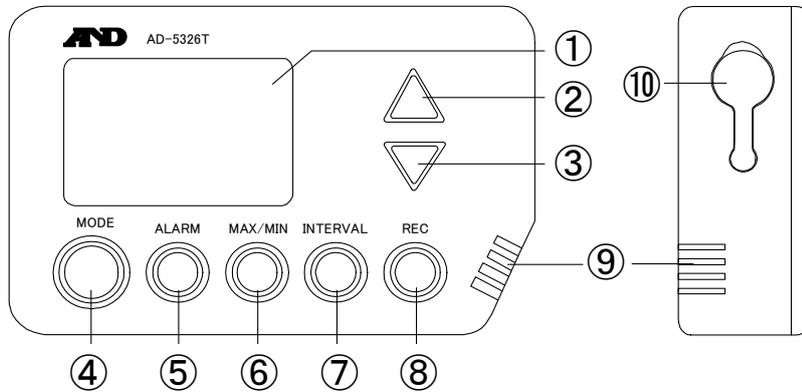
取扱上の注意

- ・ 本製品は精密機器ですので、丁寧に扱ってください。落としたり、強い衝撃を与えたりすると、破損や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ 長時間直射日光を受ける場所や、密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近くではご使用にならないでください。
本製品の動作温度範囲は、0～+60℃です。この温度範囲を超えて使用した場合は故障の原因になります。
- ・ 暑い所から寒い所へ、また寒い所から暑い所への急な移動は避けてください。急激な温度変化により、内部に水滴が付き、故障の原因になります。
- ・ 危険防止のため、引火性のガスがある場所でのご使用は避けてください。
- ・ 酸・アルカリ・有機溶剤・腐食性ガスなどの影響を受ける環境では、使用しないでください。
- ・ 高温環境また低温環境で使用または使用直後に手を触れると、やけどや凍傷になる恐れがあるのでご注意ください。

- ストラップをお使いの際は、本製品を落としたり壁や物などにぶつけたりすると機器の破損や故障の恐れがありますので注意してください。
- 食品に直接触れる設置方法はお止めください。
- 強い磁場や電界のある場所(テレビやIH調理器具、電子レンジなど)では、機器に影響を与える恐れがあります。そのような場所でのご使用は避けてください。
- 本製品の測定間隔(表示の更新)は、30秒毎です。また正確な温度測定をするためには、温度センサが周囲温度になじむまで(特に温度変化が大きかったり、測定場所を変えた場合など)、時間が掛かる場合があります。測定に掛かる時間は、測定する環境や条件により異なります。温度表示値が安定してから5分後を目安にしてください。
- 電池容量の少ない電池を入れたときや使用中に電池容量が少なくなってくると、ボタンを押しても動作しなかったり、正常な動作や表示ができないなどの現象が出る場合があります。このような場合、「5-1. 電池の交換方法」(p.8)の手順で電池を交換してください。
- 電池寿命は、測定環境や記録間隔、電池の品質により変わります。本製品の電池寿命1年は、周囲温度25℃、記録間隔1分以上で使用したときの目安です。測定環境が低温の場合、著しく電池寿命が短くなりますので、定期的に製品の状態(ローバッテリーマークが点灯していないか、表示が消えていないか)をご確認ください。また付属のリチウム電池はモニター用ですので、電池寿命が短い場合があります。
- 本製品および外部温度センサは、防滴構造になっていますが、防水構造にはなっていません。水中に入れたり水洗いしたりしないでください。本製品の防滴性能はIP54に準拠し、水の飛まつ(あらゆる方向からの噴霧)に対して本製品を保護します。
- 温度センサは粉塵やタバコの煙、各種ガスなどのある悪環境で使用された場合、センサ表面に不純物や汚れが付着し、短時間でセンサが劣化し、その劣化により精度から外れてしまう場合がありますので、ご注意ください。

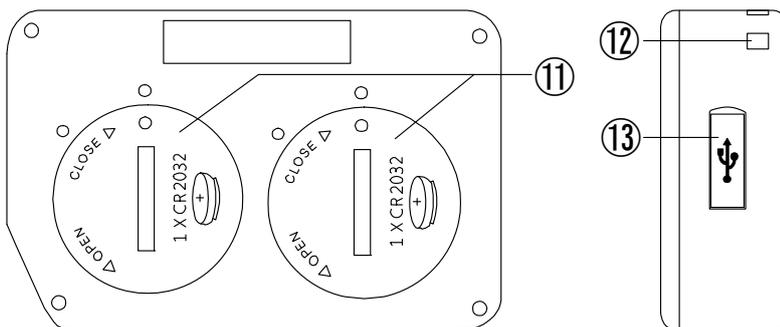
4. 各部の名称

4-1. 正面/右側面



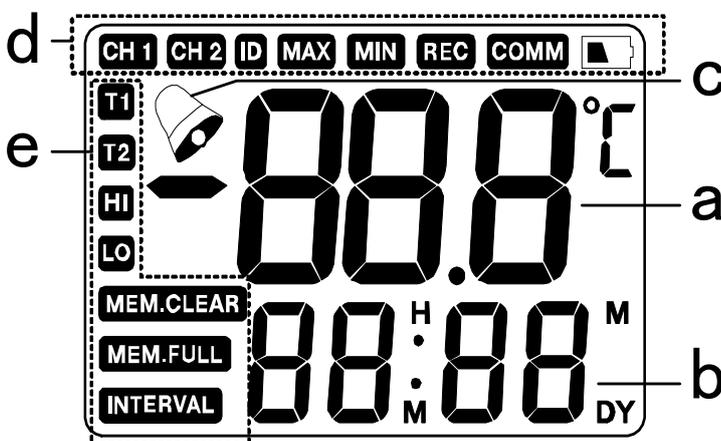
- ① 表示部
- ② △ボタン
- ③ ▽ボタン
- ④ [MODE]ボタン
- ⑤ [ALARM]ボタン
- ⑥ [MAX/MIN]ボタン
- ⑦ [INTERVAL]ボタン
- ⑧ [REC]ボタン
- ⑨ 内蔵温度センサ
- ⑩ 外部センサ接続部

4-2. 裏面/左側面



- ⑪ 電池フタ
- ⑫ ストラップ穴
- ⑬ 通信ポート

4-3. 表示部



- a 温度測定値
- b 年月日時刻表示
- c アラームマーク

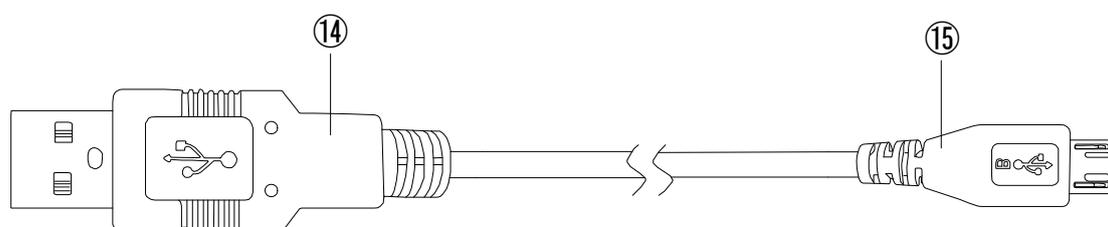
d 表示上部

CH 1	内蔵温度センサの温度測定値の表示時に点灯。
CH 2	外部温度センサの温度測定値の表示時に点灯。
ID	本製品の ID 番号の表示時に点灯。
MAX	最高値表示時に点灯。
MIN	最低値表示時に点灯。
REC	本製品内部に記録データがあるときに点灯。 データ記録中は点滅。
COMM	通信ケーブルを使い、コンピュータに接続中に点灯。
	電池電圧が低下したときに点灯。点灯後、24 時間経過すると、自動でデータ記録が停止し、全表示が消灯。それまで記録されたデータは保持されます。

e 表示左側

T1	内蔵温度センサのアラーム設定時に点灯。
T2	外部温度センサのアラーム設定時に点灯。
HI	上限アラームの設定時に点滅。
LO	下限アラームの設定時に点滅。
MEM.CLEAR	記録データの消去時に点灯。
MEM.FULL	内部メモリがいっぱいになったときに点灯。
INTERVAL	記録間隔の設定時に点滅。

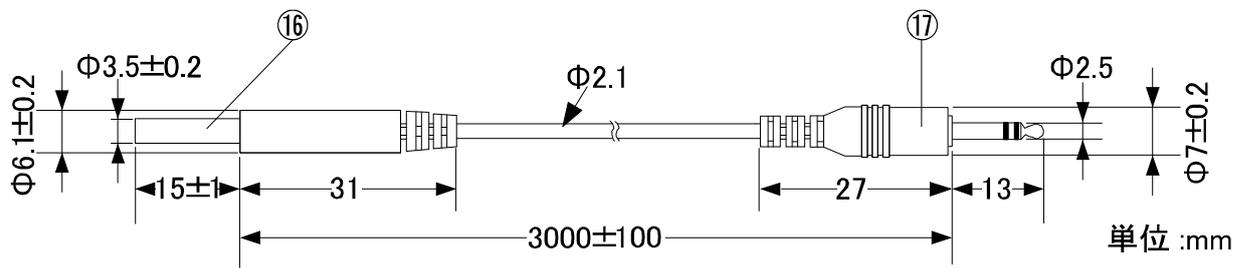
4-4. USB ケーブル



⑭ A タイプ USB コネクタ

⑮ マイクロ B タイプ USB コネクタ

4-5. 外部温度センサ(AD-5326TTのみ標準付属)



①⑥ 感温部

①⑦ ジャック 使用時に本体に接続します。

⚠注意

外部温度センサのケーブルの材質は、ATBC-PVC（環境ホルモン対応非フタル酸系PVC）です。直射日光に長時間晒されたり、紫外線を受ける環境下では、紫外線劣化によりケーブルの色が変色したり、強度が落ちたりする場合があります。

5. 電源について

5-1. 電池の交換方法

ご購入時、電池収納部には電池が入っていません。以下の手順で電池を入れてからお使いください。

表示が出なくなったり、表示の右上に  の表示（ローバッテリーマーク）が出た場合には、以下の手順で電池を交換してください。

電池は、CR2032 コイン型を2個使用します。

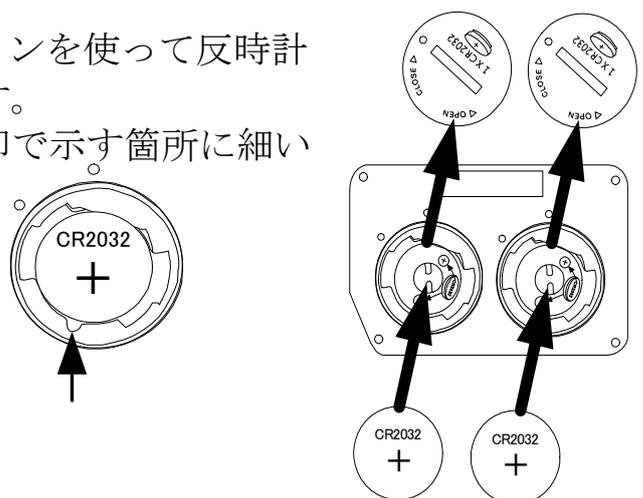
※電池は、お近くのコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ホームセンター、電器店でお求めになれます。

※本体が濡れている場合は、水気を十分拭き取ってから電池交換をしてください。本体内部に水が入ると故障の原因になります。

電池の交換方法

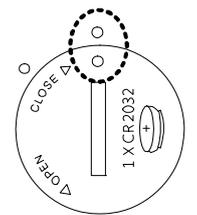
a. 本体裏面の2箇所、電池フタを、コインを使って反時計回り（左回り）に回して取り外します。

b. 古い電池を取り出します。下図の矢印で示す箇所に細い棒を差し込み、電池を押し上げるようにして電池を外してください。



c. 新しい電池を、プラス側を上にして入れます。

d. 電池フタを元に戻します。このとき右図のように電池フタとケースの目印の点が合うまで回してしっかりと取り付けてください。



電池を交換すると、時刻や年月日、記録間隔はクリアされますので、再度設定してください。記録データと最高値／最低値メモリは、電池交換をしてもクリアされません。

電池使用上のお願い

- ・ 電池は必ず指定のものを使用し、2 個同時に新品の電池に交換してください。
- ・ 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- ・ 本製品を長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
- ・ 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いいたします。
- ・ 付属の電池はモニター用のため、電池寿命が短い場合があります。仕様に記載されている電池寿命は、周囲温度 25℃時で新品の電池を使用し、記録間隔 1 分以上で設定した場合のものです。周囲温度が低温の場合や記録間隔の設定によっては、極端に電池寿命が短くなる場合があります。
- ・ 電池容量の少ない電池を入れたときや使用中に電池容量が少なくなってくると、正常な表示や動作ができなくなる場合があります。このような場合は、新品の電池に交換してください。
- ・ 電池の+-を逆に入れると正常に動作しないばかりか、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

5-2. ローバッテリーマーク表示

本製品は、電池の残量が減少すると、表示の右上に  (ローバッテリーマーク) が表示されます。

本製品は、 が表示されてから約 24 時間経過すると、保存された記録データの保護のため、自動でデータ記録が停止し、表示が消えます。

表示が消えているときにいずれかのボタンを押すと、右の表示が約 5 秒間表示され、表示が消灯します。



⚠注意

データ記録をスタートする前に、電池の残量が十分残っているかご確認ください。特に長い期間のデータ記録を行う場合、新品の電池を使用してください。またデータ記録中も定期的に  マークが表示されていないか、表示が消えていないかを確認し、こまめに記録データをコンピュータに保存してください。

6. 操作方法

6-1. 電源を入れる

本製品には、電源のオン/オフスイッチはありません。電池を入れると電源が入ります。

6-2. 外部温度センサの接続

本体右側の接続部に外部温度センサを奥までしっかり差し込んでください。



⚠注意

AD-5326T には、外部温度センサは付属しておりません。別途ご購入ください。

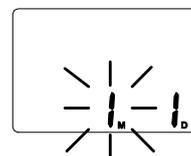
6-3. 年月日、時刻の設定

初めて電池を入れたときや、電池交換を行ったときには、はじめに必ず年月日と時刻を正しく設定してください。

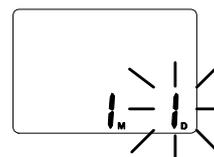
- ① [MODE] ボタンを押しながら [MAX/MIN] ボタンを押すと、時刻表示の所に 2015 が点滅し、年（西暦）の設定になります。[▲] ボタンを押すと年が進み、[▼] ボタンを押すと年が戻ります。また各ボタンを押し続けると、連続で早く変わります。



- ② [MODE] ボタンを 1 回押すと、月表示が点滅し、月の設定になります。[▲] ボタンを押すと月が進み、[▼] ボタンを押すと月が戻ります。また各ボタンを押し続けると、連続で早く変わります。



- ③ [MODE] ボタンを 1 回押すと、日表示が点滅し、日の設定になります。[▲] ボタンを押すと日が進み、[▼] ボタンを押すと日が戻ります。また各ボタンを押し続けると、連続で早く変わります。



- ④ [MODE] ボタンを 1 回押すと、時表示が点滅し、時の設定になります。[▲] ボタンを押すと 1 時間進み、[▼] ボタンを押すと 1 時間戻ります。また各ボタンを押し続けると、連続で早く変わります。



- ⑤ [MODE] ボタンを 1 回押すと、分表示が点滅し、分の設定になります。[▲] ボタンを押すと 1 分進み、[▼] ボタンを押すと 1 分戻ります。また各ボタンを押し続けると、連続で早く変わります。



- ⑥ [MODE] ボタンを 1 回押すと、設定が完了し、通常表示に戻ります。

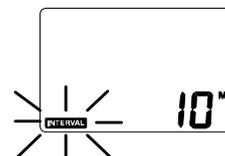
⚠注意

- ・ 年月日・時刻の設定中に 30 秒間何もボタン操作をしないと、自動で通常表示に戻ります。
- ・ ここで設定された年月日と時刻が、データ記録時に記録されます。間違いのないように設定してください。
- ・ データ記録中には、年月日と時刻の変更はできません。
- ・ 設定した年月日は、データ記録中や通常時に問わず、本製品の表示による確認はできません。

6-4. 記録間隔（インターバル）の設定

初期状態では、10 分に設定されています。別の値を設定した場合でも、電池交換をすると初期状態の 10 分に戻ってしまうので、設定し直してください。

- ① [MODE] ボタンを押しながら [INTERVAL] ボタンを押すと、表示左下の **INTERVAL** が点滅し、時刻表示の所に記録間隔の設定値が表示されます。



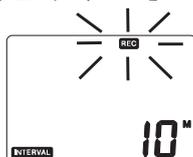
- ② [▲] ボタンを押すと 1 分進み、[▼] ボタンを押すと 1 分戻ります。また各ボタンを押し続けると、10 分単位で早く変わります。01M(1 分)～12H00M(12 時間)の範囲で 1 分単位で設定可能です。
- ③ [MODE] ボタンを押すと、設定が完了し、通常表示に戻ります。

⚠注意

- ・ 記録間隔の設定中に 30 秒間何もボタン操作をしないと、自動で通常表示に戻ります。
- ・ ここで設定された記録間隔でデータ記録されます。間違いのないように設定してください。
- ・ データ記録中には、記録間隔の変更はできません。

記録間隔の確認（データ記録中）

データ記録中に [INTERVAL] ボタンを押すと、記録間隔の確認ができます。

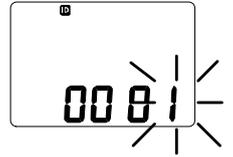


データ記録時以外は、前述の「記録間隔の設定」の手順で確認してください。

6-5. ID 番号の設定

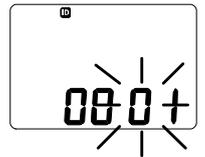
本製品では、識別用に0000～9999の数字をIDとして設定することができます。初期状態では、0001に設定されています。別の値を設定した場合でも、電池交換をすると初期状態の0001に戻ってしまうので、設定し直してください。

① [MODE]ボタンを押しながら[▲]ボタンを押すと、表示左上にIDが点灯し、時刻表示の所にID番号の設定値が表示されます。



② ID番号の一番右側が点滅しており、[▲]ボタンを押すと数値が増え、[▼]ボタンを押すと数値が減りますので、数値を設定してください。

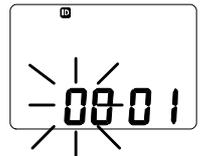
③ [MODE]ボタンを押すと、右から2番目の数値が点滅します。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、数値を設定してください。



④ [MODE]ボタンを押すと、右から3番目の数値が点滅します。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、数値を設定してください。



⑤ [MODE]ボタンを押すと、一番左側の数値が点滅します。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、数値を設定してください。



⑥ [MODE]ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

⚠注意

- ・ ID番号の設定中に30秒間何もボタン操作をしないと、自動で通常表示に戻ります。
- ・ データ記録中には、ID番号の変更はできません。

ID番号の確認（データ記録中）

データ記録中に[MODE]ボタンを押しながら[▲]ボタンを押すと、ID番号の確認ができます。



データ記録時以外は、前述の「ID番号の設定」の手順で確認してください。

6-6. アラームの設定

本製品では、各測定値に対して上限/下限アラームを設定できます。ブザー音は鳴らず、表示の点滅でお知らせする機能です。

上限アラームとは、各測定値がアラーム設定値を上回ると、アラームマークと**T1** (CH1)または**T2** (CH2)と**HI**のマークが点滅してお知らせします。

下限アラームとは、各測定値がアラーム設定値を下回ると、アラームマークと**T1** (CH1)または**T2** (CH2)と**LO**のマークが点滅してお知らせします。

電池交換をしても、アラーム設定値は保持されます。

アラームは記録中でも記録していなくても動作します。

アラームの設定範囲は、以下の通りです。

内蔵温度センサ(CH1)：-10.0～+60.0℃/0.1℃刻みで設定可能。

外部温度センサ(CH2)：-40.0～+90.0℃/0.1℃刻みで設定可能。

アラームの設定方法

アラームは初期状態では、無効（バー表示）に設定されています。

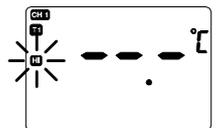
① 内蔵温度センサ(CH1)の上限アラーム設定

[MODE]ボタンを押しながら[ALARM]ボタンを押すと右の表示になり、内蔵温度センサ(CH1)の上限アラームの設定に入ります。

[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、アラームの設定をします。

[▲]ボタンを押すと設定値が0.1℃上がり、[▼]ボタンを押すと設定値が0.1℃下がります。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。

設定値をクリアするには、[MAX/MIN]ボタンを押してください。表示されている設定値のみがクリアされ、バー表示になります。

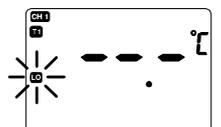


② 温度センサ(CH1)の下限アラーム設定

内蔵温度センサ(CH1)の上限アラームの設定中に[MODE]ボタンを押すと右の表示になり、内蔵温度センサ(CH1)の下限アラームの設定に入ります。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、アラームの設定をします。[▲]ボタンを押すと設定値が0.1℃上がり、[▼]ボタンを押すと設定値が0.1℃下がります。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。

設定値をクリアするには、[MAX/MIN]ボタンを押してください。表示されている設定値のみがクリアされ、バー表示になります。外部温度センサを接続していない場合は、[MODE]ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

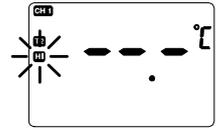
外部温度センサを接続している場合は、③へ進んでください。



③ 外部温度センサ(CH2)の上限アラーム設定

(外部温度センサ接続時のみ)

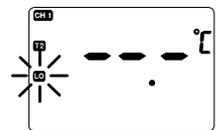
内蔵温度センサ(CH1)の下限アラームの設定中に[MODE]ボタンを押すと右の表示になり、外部温度センサ(CH2)の上限アラームの設定に入ります。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、アラームの設定をします。[▲]ボタンを押すと設定値が 0.1°C 上がり、[▼]ボタンを押すと設定値が 0.1°C 下がります。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。設定値をクリアするには、[MAX/MIN]ボタンを押してください。表示されている設定値のみがクリアされ、バー表示になります。



④ 外部温度センサ(CH2)の下限アラーム設定

(外部温度センサ接続時のみ)

外部温度センサ(CH2)の上限アラームの設定中に[MODE]ボタンを押すと右の表示になり、外部温度センサ(CH2)の下限アラームの設定に入ります。[▲]ボタンと[▼]ボタンを押して、アラームの設定をします。[▲]ボタンを押すと設定値が 0.1°C 上がり、[▼]ボタンを押すと設定値が 0.1°C 下がります。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。設定値をクリアするには、[MAX/MIN]ボタンを押してください。表示されている設定値のみがクリアされ、バー表示になります。



⚠注意

上限アラームと下限アラームを両方お使いになる場合には、上限アラーム設定値と下限アラーム設定値を同じ値に設定しないでください。このような設定をすると、正常なアラーム動作をしませんので、必ず上限アラーム設定値を下限アラーム設定値よりも大きな値にしてください。

アラーム設定時の表示例

LCD 表示の左側の表示で、アラームの設定状況が分かります。

T1 : 内蔵温度センサ(CH1)のアラームが設定されています。

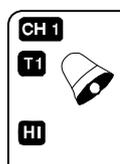
T2 : 外部温度センサ(CH2)のアラームが設定されています。

HI : 上限アラームが設定されています。

LO : 下限アラームが設定されています。

 : アラームが設定されているときに表示します。またアラーム動作時には点滅します。

下記は、内蔵温度センサ(CH1)の上限アラームを設定した場合の表示例です。

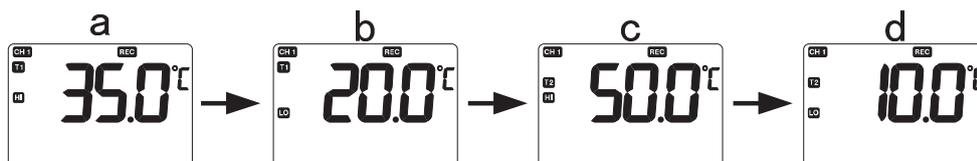


アラーム設定値の確認（データ記録中）

データ記録中に[ALARM]ボタンを押すと、アラーム設定値の確認ができます。

[ALARM]ボタンを押す毎に、

- a. CH1 の上限アラーム設定値
- b. CH1 の下限アラーム設定値
- c. CH2 の上限アラーム設定値（外部温度センサ接続時のみ）
- d. CH2 の下限アラーム設定値（外部温度センサ接続時のみ）



の順番でアラーム設定値が表示されます。

データ記録時以外は、前述の「アラームの設定」(p.13)の手順で確認してください。

6-7. 最高値／最低値メモリ

本製品では、各測定値に対してデータ記録中の最高値／最低値を自動でメモリする機能があります。

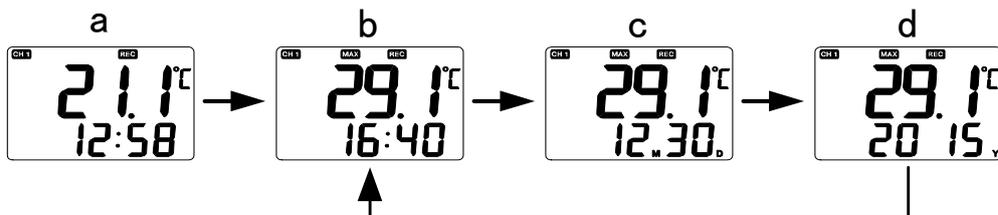
データ記録をしていないときには、最高値／最低値はメモリされません。

本製品は、記録されたデータの最高値／最低値ではなく、30 秒毎に表示される測定データの最高値／最低値を自動でメモリします。

最高値／最低値は、自動でメモリされるため、特別な操作は必要ありません。

最高値の表示方法

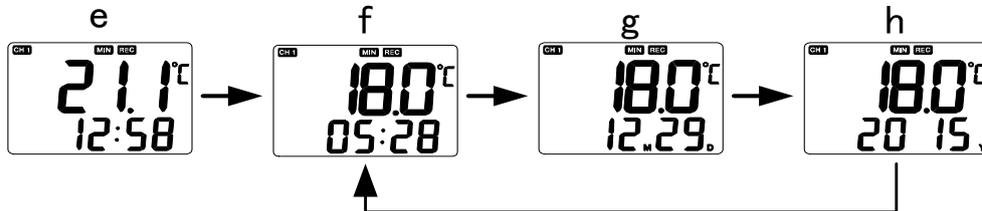
- ① 最高値を表示させたいチャンネルを表示させます。外部温度センサが未接続の場合は、CH2 表示には切り替えられません。
- ② 下記の a の通常表示のときに、[MAX/MIN]ボタンを 1 回押すと、b のように表示上部に **MAX** と表示され、温度測定値の最高値とその最高値をメモリした時刻が表示されます。
- ③ 次に[▲]ボタンを押すと c のように温度測定値の最高値とその最高値をメモリした月日が表示されます。
- ④ 次に[▲]ボタンを押すと d のように温度測定値の最高値とその最高値をメモリした年（西暦）が表示されます。
- ⑤ 次に[▲]ボタンを押すと b のように温度測定値の最高値とその最高値をメモリした時刻が表示されます。



最低値の表示方法

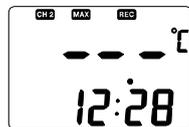
- ① 最低値を表示させたいチャンネルを表示させます。外部温度センサが未接続の場合は、CH2 表示には切り替えられません。
- ② 下記の e の通常表示のときに、[MAX/MIN]ボタンを 2 回押すと、f のように表示上部に **MIN** と表示され、温度測定値の最低値とその最低値をメモリした時刻が表示されます。
- ③ 次に[▲]ボタンを押すと g のように温度測定値の最低値とその最低値をメモリした月日が表示されます。

- ④ 次に[▲]ボタンを押すと h のように温度測定値の最低値とその最低値をメモリした年（西暦）が表示されます。
- ⑤ 次に[▲]ボタンを押すと f のように温度測定値の最低値とその最低値をメモリした時刻が表示されます。



⚠注意

データ記録しているときに、外部温度センサ(CH2)が未接続の場合、CH2の最高値／最低値はメモリされません。最高値／最低値表示は、「— . —°C」になり、年／月日／時刻表示は、データ記録を開始したときの表示になります。



最高値／最低値メモリのクリア

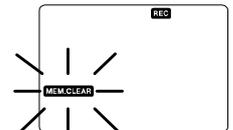
最高値／最低値メモリは、次の記録をスタートするときクリアされます。電池を外しても、最高値／最低値メモリはクリアされません。

6-8. データ記録

データ記録をスタートする前に必ず年月日、時刻、記録間隔、ID 番号、アラームの設定を行ってください。

6-8-1. データ記録のスタート

- ① [REC]ボタンを3秒以上長押しすると、表示左側に **MEM.CLEAR** と表示されます。

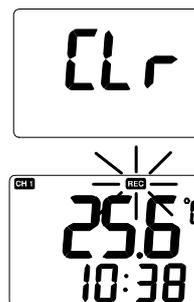


⚠注意

電池容量が少なくなっている電池を使った場合、表示が全点灯し、リセットしたり、「LowBat」や「Err」と表示されたりして、データ記録がスタートできないことがあります。このような場合は、電池を2つ共新しいCR2032に交換し、本体を再設定し、記録をスタートしてください。

- ② もう 1 回 [REC] ボタンを押すと、「CLr」と表示され、データ記録が開始されます。

MEM.CLEAR と表示されてから 5 秒以上経過すると、自動で通常表示に戻り、データ記録はスタートされません。
データ記録が開始されると、表示上部の **REC** が点滅します。



⚠注意

- ②の操作をすると、前回の記録データと最高値／最低値メモリが消去されますので、ご注意ください。

- ③ 外部温度センサを接続している場合は、[MODE] ボタンを押す毎に CH1（内蔵温度センサ）と CH2（外部温度センサ）の表示切替ができます。

また、外部温度センサを接続しないでデータ記録をスタートし、途中で接続したり、外したりすることも可能です。外部温度センサを接続している間の温度測定値が記録されます。

⚠注意

- ・ データ記録中は、年月日、時刻、記録間隔、ID 番号、アラームの設定はできません。
- ・ データ記録中に、電池を外さないでください。記録データが破損したり、本製品が故障する恐れがあります。電池を外す場合は、データ記録を停止してください。
- ・ データ記録中に、表示の右上に  のマーク（ローバッテリーマーク）が表示されたら、速やかに記録データを保存し、電池を交換してください。 が表示されてから約 24 時間後に、保存された記録データ保護のため、自動でデータ記録が止まり、表示が消えます。それまでに記録されていたデータは消えません。

6-8-2. データ記録の停止

- ① [REC] ボタンと **▼** ボタンを同時に押すと、表示上部の **REC** の点滅が止まり、データ記録が停止します。



⚠注意

データ記録を停止した後、次の記録をスタートする前に必ず記録データをコンピュータに保存してください。保存せずに、次のデータ記録をスタートさせると、記録データがクリアされ、新しいデータ記録が始まります。

6-9. 記録データのコンピュータへの転送

本体をコンピュータに接続して、データを転送します。

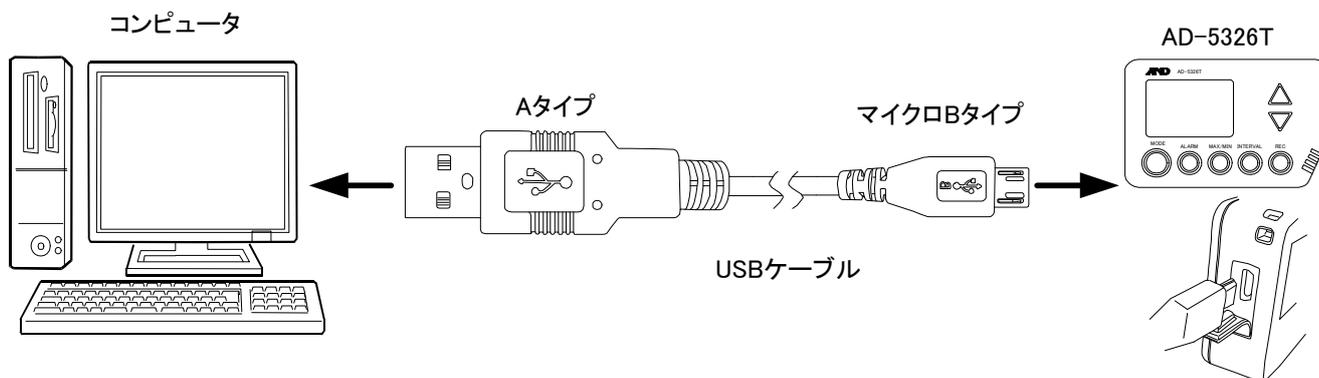
ここでは、Windows 10 で Internet Explorer を使った場合の表示で説明しています。

⚠注意

データの転送には、Internet Explorer をお使いください。本製品は、Internet Explorer 以外のブラウザでの動作は保証していません。他のブラウザを使った場合、正常なデータの転送ができない場合があります。

本製品をコンピュータに接続しているとき、各ボタンは機能しません。各種設定を行う場合は、USB ケーブルを外してください。

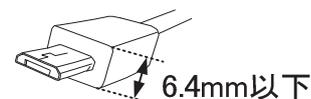
- ① 本体左側の USB ポートに、付属の USB ケーブルのマイクロ B タイプ側を接続し、USB ケーブルの A タイプ側をコンピュータの USB ポートに接続します。



⚠注意

市販の USB ケーブルをご使用の場合、右図のように USB コネクタのハウジングの幅が 6.4mm 以下の USB ケーブルを使ってください。6.4mm 以上の USB ケーブルでは、AD-5326T の USB 端子（マイクロ B タイプ）に奥まで差し込めず、正常な記録データの転送ができませんので、ご注意ください。

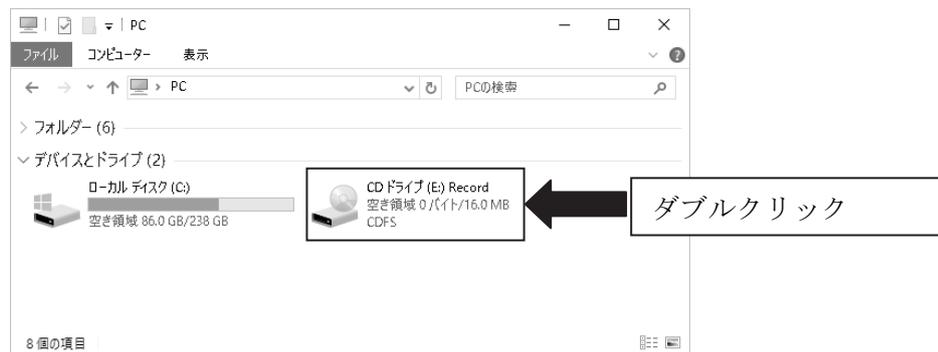
また、充電専用 USB ケーブルでは、記録データの転送ができません。必ず、データ通信可能な USB ケーブルをお使いください。



⚠注意

本製品とコンピュータを USB ケーブルで接続したまま、コンピュータの電源をシャットダウンしたり、スリープ（スタンバイ）モードに入ったりすると、本製品はリセットされ、設定した年月日時刻と ID 番号が初期状態に戻ってしまいますので、ご注意ください。コンピュータへのデータ転送完了後は、USB ケーブルを外してください。

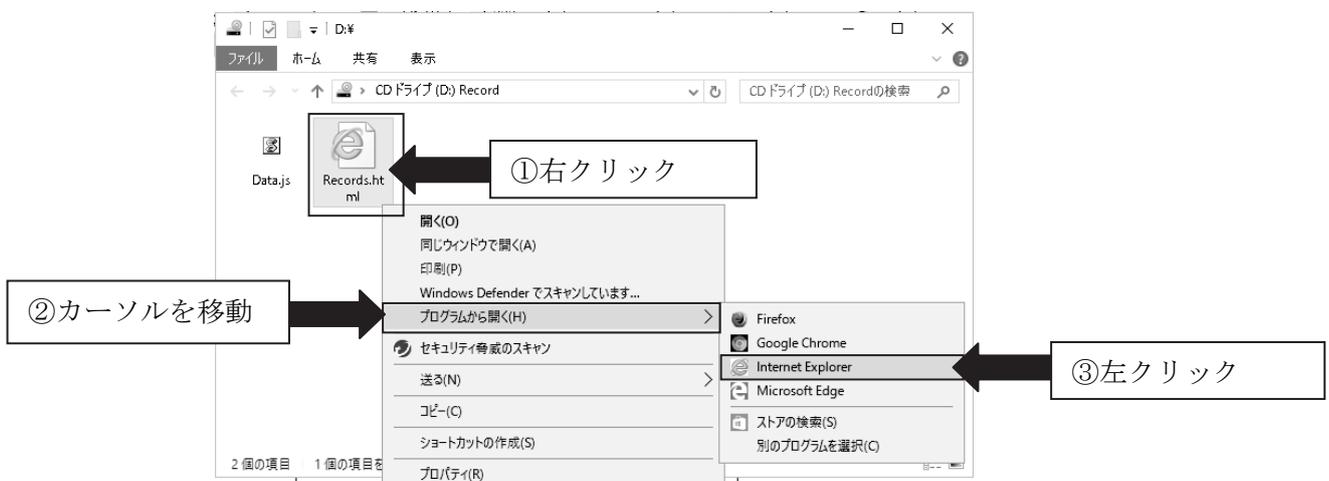
- ② コンピュータのマイコンピュータを開き、「Record」というフォルダをダブルクリックします。



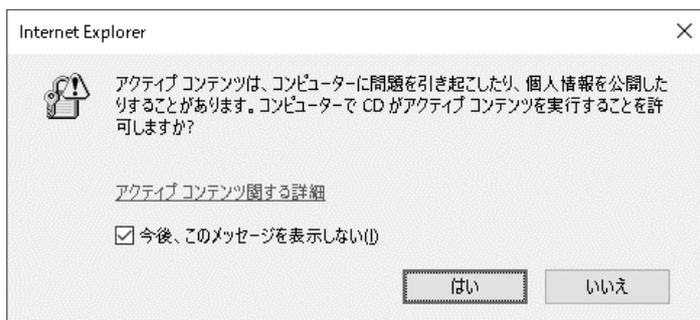
- ③ Internet Explorer を通常使うブラウザに設定している場合は、「Records.html」をダブルクリックします。



通常使うブラウザが何に設定されているか分からなかったり、別のブラウザに設定している場合は、「Records.html」にカーソルを持っていき、右クリックしてください。次に「プログラムから開く(H)」にカーソルを移動して、「Internet Explorer」を左クリックします。



- ④ 下記のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。Internet Explorer が開き、記録データが表示されます。「いいえ」や「×」をクリックすると、記録データが表示されません。



記録データは、Internet Explorer で下記のように表示されます。記録数が多い場合は、読み込みに時間が掛かる場合があります。

Temperature Records

ID	0001
Total records	4021

[記録データ出力] << 1 2 3 4 5 6 7 >>

#	Time	CH1	CH2
1	2016-03-11 15:35	28.3°C	32.1°C
2	2016-03-11 15:36	28.4°C	26.6°C
3	2016-03-11 15:37	28.3°C	26.6°C
4	2016-03-11 15:38	28.1°C	26.4°C
5	2016-03-11 15:39	28.0°C	26.6°C
6	2016-03-11 15:40	27.9°C	26.5°C
7	2016-03-11 15:41	27.7°C	26.5°C
8	2016-03-11 15:42	27.6°C	26.5°C
9	2016-03-11 15:43	27.6°C	26.6°C
10	2016-03-11 15:44	27.5°C	26.7°C
11	2016-03-11 15:45	27.5°C	26.6°C
12	2016-03-11 15:46	27.4°C	26.6°C
13	2016-03-11 15:47	27.4°C	26.6°C
14	2016-03-11 15:48	27.3°C	26.6°C
15	2016-03-11 15:49	27.3°C	26.6°C

⚠注意

記録データが正常に表示されない場合は、本製品とコンピュータを接続している USB ケーブルを一旦外してから、もう一度接続し直してください。

表示の説明

設定した ID 番号が表示されます。

記録データの総数が表示されます。

記録データを出力(保存)するときにクリックします。

ページを示しており、1画面に、50件ずつデータが表示されます。

記録データ No.です。

年月日時刻を表示します。

#	Time	CH1	CH2
1	2016-03-11 15:35	28.3°C	32.1°C
2	2016-03-11 15:36	28.4°C	26.6°C
3	2016-03-11 15:37	28.3°C	26.6°C
4	2016-03-11 15:38	28.1°C	26.4°C
5	2016-03-11 15:39	28.0°C	26.6°C

CH1(内蔵温度センサ)の温度測定値を表示します。

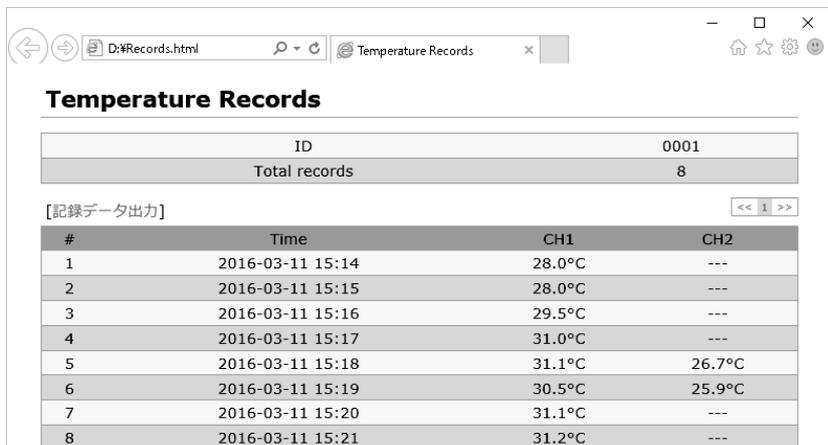
CH2(外部温度センサ)の温度測定値を表示します。

CH2(外部温度センサ)を未接続で記録した場合、下記のように CH2 は表示されません。

#	Time	CH1	CH2
1	2016-03-11 14:58	29.9°C	
2	2016-03-11 14:59	29.9°C	
3	2016-03-11 15:00	29.6°C	
4	2016-03-11 15:01	29.3°C	
5	2016-03-11 15:02	29.0°C	
6	2016-03-11 15:03	28.7°C	
7	2016-03-11 15:04	28.4°C	
8	2016-03-11 15:05	28.1°C	

記録中に外部温度センサを接続したり、外したりすると、下記のような表示になります。

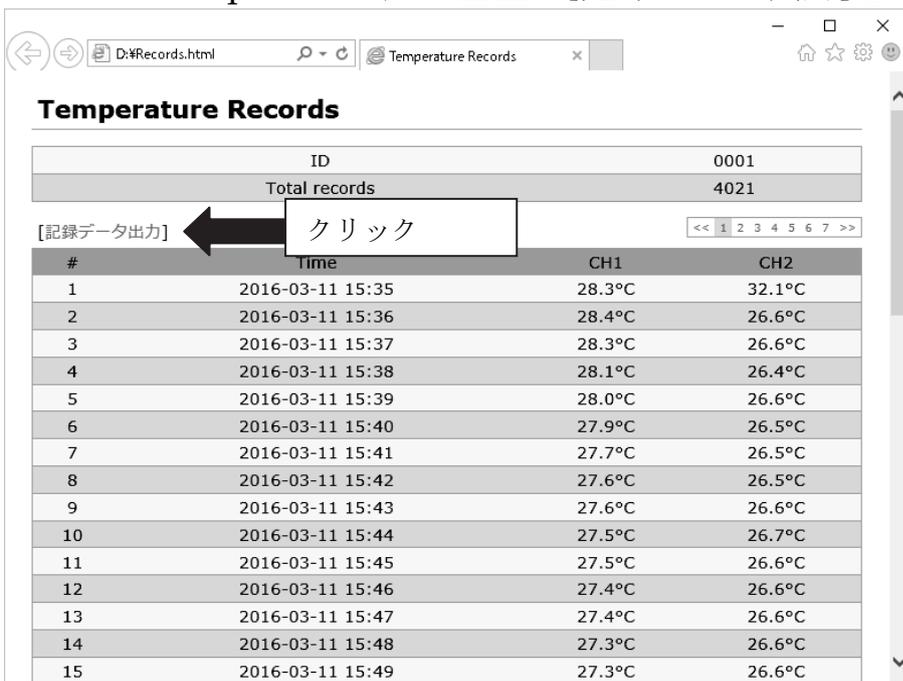
接続時には温度測定値が表示され、外しているときにはバー表示になります。



The screenshot shows a web browser window titled 'Temperature Records'. It displays a summary table with ID 0001 and 8 total records. Below this is a table with 8 rows of recorded data, including time, CH1, and CH2 values.

ID	0001		
Total records	8		
[記録データ出力] << 1 >>			
#	Time	CH1	CH2
1	2016-03-11 15:14	28.0°C	---
2	2016-03-11 15:15	28.0°C	---
3	2016-03-11 15:16	29.5°C	---
4	2016-03-11 15:17	31.0°C	---
5	2016-03-11 15:18	31.1°C	26.7°C
6	2016-03-11 15:19	30.5°C	25.9°C
7	2016-03-11 15:20	31.1°C	---
8	2016-03-11 15:21	31.2°C	---

⑤ Internet Explorer の表示左上の[記録データ出力]をクリックします。

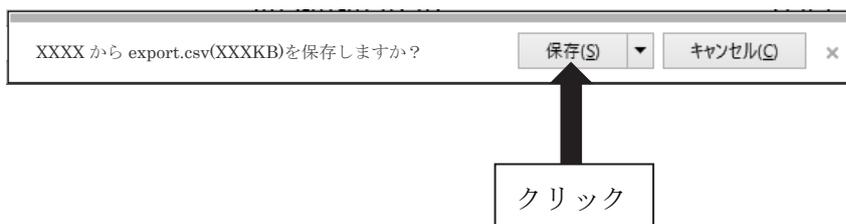


The screenshot shows the same web browser window, but now displaying 4021 total records. A black arrow points from a box labeled 'クリック' to the '[記録データ出力]' button in the top left of the table area.

ID	0001		
Total records	4021		
[記録データ出力] ← クリック << 1 2 3 4 5 6 7 >>			
#	Time	CH1	CH2
1	2016-03-11 15:35	28.3°C	32.1°C
2	2016-03-11 15:36	28.4°C	26.6°C
3	2016-03-11 15:37	28.3°C	26.6°C
4	2016-03-11 15:38	28.1°C	26.4°C
5	2016-03-11 15:39	28.0°C	26.6°C
6	2016-03-11 15:40	27.9°C	26.5°C
7	2016-03-11 15:41	27.7°C	26.5°C
8	2016-03-11 15:42	27.6°C	26.5°C
9	2016-03-11 15:43	27.6°C	26.6°C
10	2016-03-11 15:44	27.5°C	26.7°C
11	2016-03-11 15:45	27.5°C	26.6°C
12	2016-03-11 15:46	27.4°C	26.6°C
13	2016-03-11 15:47	27.4°C	26.6°C
14	2016-03-11 15:48	27.3°C	26.6°C
15	2016-03-11 15:49	27.3°C	26.6°C

Internet Explorer の下に下記のメッセージが表示されます。

「保存」をクリックします。



「保存」をクリックすると、下記の表示が出て、記録データがコンピュータに保存されます。



また、自分でファイル名や保存フォルダを指定したい場合は、⑥の手順で保存してください。

ファイル名は、自動で付与され「export.csv」で保存されます。

保存フォルダに既に同名のファイルがある場合は、「export(1).csv」「export(2).csv」「export(3).csv」・・・のように番号が付きます。

記録データは、Internet Explorer で指定されたフォルダに保存されます。

「フォルダを開く(P)」をクリックすると、保存フォルダが表示されます。

「ファイルを開く(O)」をクリックすると、Microsoft Excel が開き、記録データが表示されます。

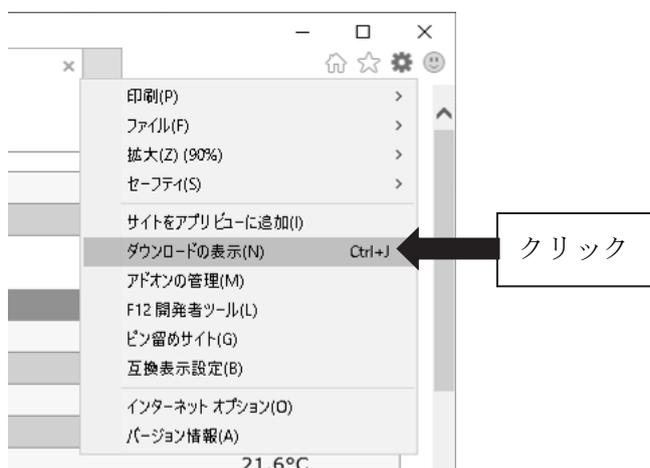
「ダウンロードの表示(V)」をクリックすると、Internet Explorer でダウンロードされたファイルの履歴が時系列で表示されます。(本製品以外のダウンロード履歴も表示されます。)

この表示を閉じてしまった場合は、以下の方法で保存したデータの確認ができます。

Internet Explorer の右上の「」(ツール) をクリックします。



下記の表示の「ダウンロードの表示(N)」をクリックします。



下記のように「ダウンロードの表示」画面が表示されます。

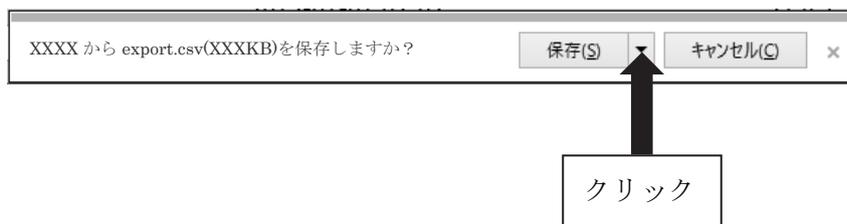


⚠注意

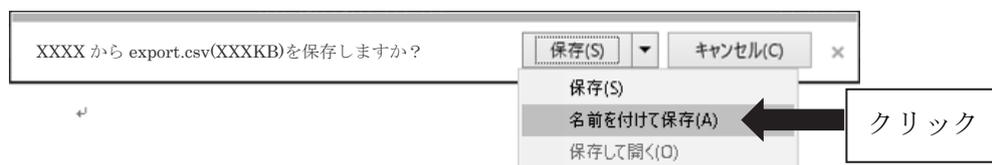
コンピュータに Microsoft Excel がインストールされていない場合、メモ帳等でファイルが開きます。

本製品は、Microsoft Excel 以外の表計算ソフトでの動作は保証しておりません。OS が Windows XP の場合、保存されるファイル名は「export.csv.txt」（テキストファイル）になります。

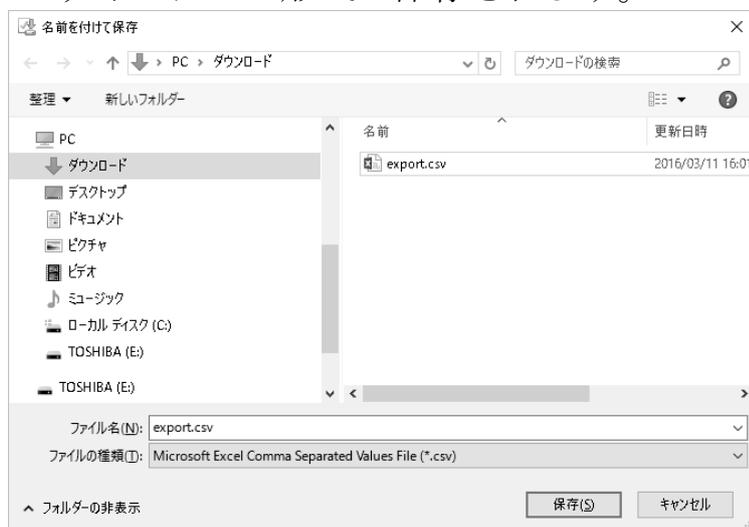
- ⑥ 自分でファイルの名前を付けて、指定のフォルダに保存したい場合、「保存(S)」の右側にある「▼」をクリックします。



下記の表示の「名前を付けて保存(A)」をクリックします。



「名前を付けて保存(A)」をクリックすると、下記のメッセージが出ます。保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力して、保存します。ファイルは csv 形式で保存されます。



保存した csv 形式のファイルをダブルクリックすると、Microsoft Excel が開きますので、データ解析をしてください。

⚠注意

本製品に記録されたデータの破損、消失については、故障や損害の内容、原因に関わらず弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

6-10. 記録データの解析

コンピュータに保存した記録データの解析をします。

⚠注意

弊社では専用のソフトウェアは準備しておりませんので、必要に応じてお客様自身で作成してください。

7. 本製品のお手入れ

本製品を清掃する際には、濡らした柔らかい布を固く絞り、軽く拭いてください。清掃の際に、スプレーなどを使用すると故障の原因になります。

また、シンナー、ベンジン類似の揮発性溶剤、または研磨剤等は使用しないでください。

8. エラー表示

表示	エラー内容
LLL	測定値が表示範囲の下限值を下回っています。測定範囲内でご使用ください。 もしくはセンサに異常が発生している疑いがあります。
HHH	測定値が表示範囲の上限値を超えています。測定範囲内でご使用ください。 もしくはセンサに異常が発生している疑いがあります。
---	温度センサに何らかの異常が発生しています。 もしくは内部回路に異常が発生している疑いがあります。
Full	内部メモリがいっぱいの場合、表示されます。
Err	電池の容量がなくなり、正常にデータ記録ができないときに表示されます。
Lo bAtt	ローバッテリーマークが点灯し、自動でデータ記録がストップし、表示が消えたときにいずれかのボタンを押したときに表示されます。 また、電池の容量がなくなり、正常にデータ記録ができないときに表示されます。

9. こんなときには

何も表示されていない。	電池の残量を確認してください。 本製品は、ローバッテリーマークが表示されてから約 24 時間経過すると、記録データの保護のため、自動でデータ記録が停止し、表示が消灯します。
表示が薄くなり、見にくい。	電池の残量を確認してください。また低温下では、LCD 表示が薄くなりますが、故障ではありません。
正常な動作をしない。	何らかの原因で、内部回路の動作が停止している可能性があります。 電池を外して 1 分程度経ってから、電池を入れて本製品をリセットしてください。 また電池残量が少なくなると、正常に動作しない場合もあります。新しい電池と交換してください。
測定値が中々変わらない。	本製品のサンプリング（表示更新）時間は 30 秒毎です。 また温度センサが周囲環境になじむまで、（特に温度の変化が大きかったり、測定場所を変えた場合など）、時間が掛かる場合があります。測定に掛かる時間は、測定する環境や条件により異なります。おおよそ温度の表示値が安定してから、5 分後を目安にしてください。
測定値が明らかにおかしい。	温度センサは粉塵やタバコの煙、各種ガス等のある悪環境で使用した場合、センサ表面に不純物や汚れが付着し、短期間でセンサが劣化し、その劣化により精度から外れてしまう場合があります。
電池寿命が短い。	本製品の電池寿命は、新品の電池使用の場合で周囲温度 25℃、記録間隔 1 分以上、アラーム動作無しの場合で 1 年と規定しています。周囲温度が極端に低かったり、高かったりする環境下では、電池寿命が極端に短くなる場合があります。
コンピュータに接続しているときにボタン操作ができない。	本製品は、コンピュータに接続しているときは、ボタン操作ができません。 各種設定をする場合は、USB ケーブルを外してから行ってください。
年月日時刻や記録間隔の設定がリセットされてしまう。	本製品をコンピュータに接続したまま、コンピュータをシャットダウンしたり、スリープ状態になると、本製品がリセットされ、初期状態に戻ってしまいます。データ転送が完了したら、速やかにコンピュータとの接続を外してください。
記録データがコンピュータに転送できない。	USB ケーブルが、破損していないこと、データ通信が可能なタイプであること、本製品の USB 端子の奥までコネクタが差し込まれていることを確認してください。 また Internet Explorer 以外のブラウザを使用している場合、正常にデータ転送ができない場合があります。
記録データが所々正常に記録されていない。	強い磁場や電界がある等、使用環境によっては様々な要因により、記録データや測定値等が不安定になることがまれに起こります。

10. 仕様

表示項目		温度(CH1/CH2)、時刻
測定項目		温度(CH1/CH2)
温度 CH1 (内蔵温度 センサ)	測定範囲	0.0～60.0℃
	表示範囲	-20.0～70.0℃ 測定範囲外の値も表示されますが、精度や動作は保証されません。
	表示分解能	0.1℃
	測定精度	±1.0℃(0.0～39.9℃) ±2.0℃(40.0～60.0℃)
	センサ	サーミスタ
温度 CH2 (外部温度 センサ)	測定範囲	-40.0～90.0℃
	表示範囲	-50.0～99.9℃ 測定範囲外の値も表示されますが、精度や動作は保証されません。
	表示分解能	0.1℃
	測定精度	±1.0℃(0.0～39.9℃) ±2.0℃(-20.0～-0.1℃、40.0～69.9℃) ±3.0℃(-40.0～-20.1℃、70.0～90.0℃)
	センサ	サーミスタ
時刻	表示範囲	0:00～23:59
	精度	±60 秒/月
サンプリング (測定間隔)		30 秒毎
アラーム		上限/下限アラーム CH1 設定範囲 -10.0～60.0℃、0.1℃刻みで設定可能 アラーム設定は-10.0℃から可能ですが、-0.1℃以下の環境では、精度や動作は保証されません。 CH2 設定範囲 -40.0～90.0℃、0.1℃刻みで設定可能
データログ 機能	データ 記録数	最大 525,600 データ (電池寿命 1 年に依存。記録 間隔 1 分で 1 年間記録した場合)
	記録間隔	00:01(1 分)～12:00(12 時間)、1 分間隔で設定可能。 初期設定値は、10 分
	出力形式	CSV 形式 (一部のブラウザのバージョンによつて は、TXT 形式)
	ID	0000～9999 初期設定値は、0001
データ出力インター フェース		USB2.0 および USB3.0
最高値/最低値メモリ		データ記録中のみメモリします。

防水性能	IP54
電源	CR2032×2個
電池寿命	約1年(周囲温度25°C、記録間隔1分毎、アラーム動作なしの場合)
動作環境	0.0~60.0°C、90%RH以下(ただし結露しないこと)
保存環境	-20.0~70.0°C、95%RH以下(ただし結露しないこと)
外形寸法	69(W)×45(H)×19(D)mm
質量	約45g(電池含む)
外部温度センサ (AD-5326TTのみ標準 付属)	ケーブル長：約3m(±0.1m) シース寸法：φ3.5×15mm 質量：約20g 材質：ケーブル/ハウジング ATBC-PVC (環境ホルモン対応 非フタル酸系PVC) シース SUS304 ジャック ニッケルメッキ
USBケーブル	Aタイプ-マイクロBタイプ ケーブル長：約20cm(コネクタ部含む) 材質：ハウジング ABS ケーブル PVC
ストラップ	全長：約160mm(ストラップ部：約88mm) 材質：ハウジング ABS その他 ナイロン
標準付属品	CR2032×2個(モニター用)、USB通信ケーブル、 ストラップ、取扱説明書 外部温度センサ(AD-5326TTのみ)
材質	本体：ABS ボタン：ラバー LCDパネル：アクリル
別売オプション	外部温度センサ(CH2) AX-KO5366 USBケーブル AX-KO5367 ストラップ AXP-AD5326-02 電池フタ AXP-AD5326-01

保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせていただきます。

また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1. 誤ったご使用または取扱による故障または損傷。
 2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
 3. 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
 4. 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
 5. 保証書のご提示がない場合。
 6. 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
 7. ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
 8. 消耗品（電池）は保証範囲外。
 9. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
 10. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ※ お買い上げ店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

製品に関するお問い合わせはお客様相談センターへ

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:00

（日・祝日、年末年始、弊社休業日を除く）

通話料無料 0120-514-019

〒364-8585 埼玉県北本市朝日 1-243

株式会社エー・アンド・デイ FE課

保 証 書

この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、保証期間内に限り無償にて修理・調整をさせていただきます。

品名 温度データロガー

型名 AD-5326T / AD-5326TT

お客様
お名前 様

ご住所 □□□-□□□□

ご購入日

ご購入店（ご購入店名を必ずご記入ください。）

保証期間 ご購入日より1年間

AND 株式会社 **エー・アンド・ティ**



本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14

(ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 5F)

TEL. 03-5391-6126 FAX. 03-5391-6129